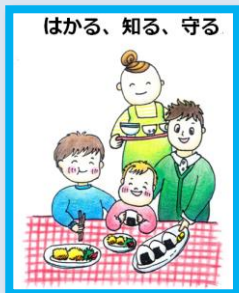


阪神・市民放射能測定所 6周年企画

原発事故から8年 子どもと私の健康を守るために被ばくの真実に向き合おう



原発事故から9年目。政府は、原発事故による放射線被害は全くないとして、安全安心キャンペーンを行い、風評被害と福島県民差別を助長しないためにと称して副読本などを子どもたちに配布しています。しかし、事実は、被ばくによる健康被害の増加であり、風評被害ではなく実害です。この安全神話は、犯罪であり、ウソを見抜き、健康被害の事実私たちが向き合っていくことが、事故を風化させないためにも子どもたちの命を守るためにも、不可欠です。そんな思いで、6周年企画を準備しました。皆さんのご参加をお待ちしています。



講演(13時30分)
安全神話のウソを見抜き、
被ばく・健康被害の真実に向き合う
渡辺悦司さん (市民と科学者の内部被曝問題研究会会員)

5月25日(土) 13時30分~16時30分
西宮市勤労会館 第8会議室

資料代500円(会員300円) 阪神西宮駅東へ10分・JR西宮駅南7分

キッズスペース用意します



プログラム

- 13時 開場
- 1部 (学習企画)
- 13時30分 測定所からのあいさつ
講演
渡辺悦司さん
講演後、質疑と休憩
- 2部 (交流企画・私たちが守る子たちの未来)
- 15時 歌・演奏と朗読
総合工作芸術家
だるま森+えりこ
「After311のこどもたち」
- 15時30分 交流
阪神・市民放射能測定所
避難移住者の方など
- 16時30分 終了



●渡辺悦司さん

1950年香川県高松市生まれ。大学院の専門は経済学(恐慌理論、戦時経済)、制御機器関係の民間企業に勤務、早期退職後、翻訳をしながら、英語学校で翻訳科の講師。原発事故以後、山田耕作先生と出会い、政府側専門家が健康被害を全否定していることに気づき、原発や放射線被曝について本気で学び始める。
 現在、市民と科学者の内部被曝問題研究会、京都市放射能測定所、避難者の会(ゴーウェスト)のメンバーとして活動
書籍
 原発問題の争点: 内部被曝・地震・東電(2012年)
 大和田幸嗣・橋本真佐男・山田耕作・渡辺悦司 [著]
 放射線被曝の争点—福島原発事故の健康被害は無いのか(2016年) 渡辺悦司/遠藤順子/山田耕作 [著]

企画内容

- 展示: 土壌・肥料・食品等測定結果
- 17都府県放射能測定マップ+読み解き集等販売
- 放射能無料測定(1リットル要)

阪神・市民放射能測定所 (〒662-0916 西宮市戸田町5-21 つむぎの家内)